

成長中！成長痛！

第9期ゼミ長 水田 弥英

第9期の水田弥英です。私は現在、日本放送協会広島放送局にて働いています。NHK 平成25年度上半期連続テレビドラマ小説「あまちゃん」の主人公・天野アキのごとく、「地元に戻りたい」と言い続けてきましたが、紆余曲折あり、地元・名古屋を大分通りすぎ、広島にたどり着きました。赴任前は、縁もゆかりもない広島での生活に、大きな不安を感じていました。しかし、9ヶ月が経ち、広島の良い物や観光スポットがわかり車も手に入れた今、そこそこ充実した日々を送っています。広島はいいところですよ。是非、皆様、1度広島にいらしてください。案内いたします。

さて、今回、エッセイを執筆するにあたり、小野ゼミでの2年間の、公式HPを見つづ振り返りました。終わらないマケ論合宿、終わらない夏ケース、終わらない卒業論文…小野ゼミでの日々を思い出すと、今でも心がキュッとします。私にとって小野ゼミの日々は「成長の毎日」というより「痛みの毎日」でした。混沌とした議論に陥った9期



著者（左から2番目）と会社の同期

会議を見渡しては自分のマネジメント力の無さに心を痛め、小野先生の添削がみっちりに入った卒論を見ては自分の文章力の低さに心を痛め。日々、痛みにつぐ痛み、小野ゼミでの2年間、ずっと心をキリキリ痛ませていました。小野ゼミ時代、自分の無能さ・欠点と向き合う時に発生する“この痛み”が嫌でしょうがありませんでした。しかし、今振り返ると数々の痛みが私を成長させてくれました。心をキリキリ痛ませながらも、自分の無能さ・欠点と向き合ったことで、小野ゼミに入る前と比べれば少しは、成長できたのではないかなと思っております。そして、それらに向き合うチャンスくれた小野ゼミには感謝してもしきれないです。この感謝をいつか小野ゼミに還元できるだけの人間になるべく広島にて頑張ります！